

平成28年度 伊豆市当初予算 資料



	<ページ>
1 一般会計当初予算について	1
2 当初予算の概要	6
3 一般会計予算の状況	7
4 一般会計予算歳入の状況	9
5 一般会計予算歳出性質別状況	10
6 一般会計予算構成比(グラフ)	11
7 主要施策(総合計画に基づく施策分類)	13
8 会計別市債残高見込み	17
9 一般会計当初予算の推移(グラフ)	18

1. 平成 28 年度 伊豆市一般会計当初予算について

《平成 28 年度予算の概要》

昨年度、地方交付税の合併による特例措置終了に伴う段階的な減額時期に対応するため 6 年ぶりに予算総額が減額となりましたが、平成 28 年度は、土肥小中一貫校整備事業やオリンピック事前合宿招致に向けた天城ふるさと広場野球場改修工事、伊豆半島ジオパーク中央拠点となる修善寺総合会館駐車場整備事業等の実施に伴い再び増額に転じました。

一方で、地方交付税が特例措置終了に伴う段階的な減額期間 2 年目を迎えることに加え、交付税の算定基礎となる人口が平成 27 年度に実施された国勢調査により減少となる見込みでその影響が交付税に反映されることに伴う減額を見込むほか、市税についても納税者人口の減少による個人市民税の減や土地価格の下落傾向に改善が見られないことなどから引き続き固定資産税の減額を見込むなど、経常的な一般財源が大きく減少するため苦しい予算編成となりました。

《一般会計の予算規模と主な事業》

予算総額：16,590,000 千円（対前年度比 701,000 千円の増、4.4%）

- コンパクトタウン&ネットワーク構想の一環として実施する文教ガーデンシティ事業のための土地取得や造成設計等に係る委託料95,762千円を計上、第2次学校再編計画に基づく「新中学校建設工事」に係る実施設計業務委託97,200千円も計上しました。
- 2020年東京オリンピックに向け、ソフトボールの事前合宿招致を狙った天城ふるさと広場野球場改修事業162,303千円を計上したほか、自転車競技が伊豆市で開催されることに伴い、市民等への啓発経費等7,736千円を計上するとともに、市道改良予備測量に6,000千円を計上し、4年後に向けて準備を進めていきます。
- その他、継続事業として3か年事業の最終年度として土肥・八木沢局の光ファイバ網整備事業者に対し補助を行う光ファイバ網整備補助金205,420千円、新規事業として、本格工事に入る土肥地区の小中一貫校整備事業372,239千円、平成28年度に開館する伊豆半島ジオパーク中央拠点施設整備として実施する修善寺総合会館駐車場整備事業151,003千円、中伊豆地区に新たに開設する認定こども園に係る整備費補助金334,449千円等が挙げられます。
- また、市が所有する全ての公共施設の総合的な管理を行うための公共施設総合管理計画策定委託8,500千円を計上するとともに、旧湯ヶ島小校舎を天城湯ヶ島支所に転用するための設計業務委託料46,410千円を計上するなど、未利用施設等の整理も積極的に行う予定です。

《主な歳入》

I 市税 4,190,249 千円（前年度対比 58,797 千円の減、△1.4%）

平成 28 年度の市税収入は、生産年齢人口の減少や高齢化等が一層進行するため個人市民税が減額、法人市民税につきましても、年間を通じて税率引下げの影響により減額するものと見込まれます。

さらに、固定資産税も、価格の下落傾向に歯止めがかからずこれまでの減収基調が継続する影響を考慮し減額を見込んでいます。

その他、軽自動車税は重課により増収、入湯税も観光諸施策により観光客数の増加を見込み微増、たばこ税は健康志向の加速により減額と見込み、全体としては前年度に比べ 58,797 千円の減（△1.4%）となっています。

（現年課税分での分析）

○ 個人市民税は、伊豆地区において景気回復の影響は顕著に表れておらず、個人所得の大幅な増加が見込めないことや人口流出に歯止めが掛からず、納税者人口の減少が著しいことなどから対前年度 10,000 千円減の 1,274,000 千円。

○ 法人市民税については、個人市民税に比べ景気回復の効果が見られるものの、税率の引下げの影響が年間を通じてとなるため、対前年度比 4,000 千円減の 172,000 千円。

○ 固定資産税は、土地価格の下落が続くことや、土砂災害特別警戒区域指定による減価補正、法人等の設備投資額の伸び悩みなどの影響により、対前年度比 39,700 千円減の 2,246,000 千円。（固定資産等所在市町村交付金及び納付金を除く）

○ 軽自動車税は、新車登録の伸びと新税率適用による重課のため、対前年度比 5,130 千円増の 83,050 千円。

○ たばこ税は、旧 3 級品以外の税率改正があるものの、売り捌き本数の減少を見込み前年度比 3,000 千円減の 235,000 千円。

○ 目的税である入湯税は、平成 26 年度以降入込み客が伸びていることから 28 年度においても増加を見込み、対前年度 280 千円増の 112,000 千円としました。

なお、当市では入湯税を次の用途に活用しています。

- ・ 観光振興事業（観光協会補助金）
- ・ 観光施設整備事業（観光施設整備、施設維持管理等）
- ・ 環境衛生施設整備（塵芥処理事業、下水道事業繰出金等）
- ・ 消防施設整備（消防施設維持管理）

II 地方交付税等（地方交付税＋臨時財政対策債）

5,740,000 千円（前年度対比 103,000 千円の減、△1.8%）

地方交付税は 5,100,000 千円で前年度対比 100,000 千円の減、地方交付税の振り替えである臨時財政対策債（元利償還金は後年度全額交付税措置）は前年度対比 3,000 千円減の 640,000 千円で、地方交付税等の合計では 103,000 千円の減（予算ベース）となります。

III 市債

① 市債発行額 1,413,500 千円（前年度対比 478,500 千円の増、51.2%）

市債発行額は、対前年度比 478,500 千円の大幅増となっています。これは、昨年度まで起債の抑制を進めてきましたが、今後、大型事業であるコンパクトタウン&ネットワーク構想の実施に向けた財源確保のため、基金残高を確保する必要があると判断、できるだけ借入れにより事業実施をする方針に転換したことによるものです。

今年度の主なものとしては、継続事業である光ファイバ網整備補助事業 205,420 千円、小中一貫校整備事業 372,239 千円、市道横瀬大平線改良事業 40,000 千円、市道越路嵐山線改良事業 110,000 千円のほか、新規事業として、修善寺総合会館駐車場整備事業 121,571 千円、矢熊筏場線改良事業 35,000 千円、小川遠藤橋線改良事業 17,500 千円等を起債対象事業とし、借入本数も増加しています。

一方、地方交付税の振り替え分である臨時財政対策債は、国の地方財政対策において大幅な減額が見込まれるものの、これまでの予算ベースの計上から平成 27 年度実績に対する見込みに切り替え、前年度より 3,000 千円減の 640,000 千円と見込みました。

② 市債残高 28 年度末見込額 15,036,860 千円

平成 28 年度における市債発行額 1,413,500 千円から市債元金償還額 1,230,000 千円を差し引くと、平成 28 年度末の一般会計市債残高は、15,036,860 千円となり、平成 27 年度末に比べて 183,500 千円程度増加する見通しです。

《性質別歳出》

I 義務的経費

人件費は、前年に比べ67,776千円の減となりました（△2.2%）。

これは、人事院勧告に伴う給料表の改定、市長及び市議会議員選挙と参議院議員通常選挙に係る時間外手当等が増加したものの、平成27年10月からの年金の一元化による地方公務員共済組合負担金の減が大きく、結果、減額となったものです。

一方、扶助費は生活保護受給者の増加に加え、扶助費における医療費が急増していることから、前年度対比198,351千円の大幅増（10.8%）となりました。

公債費は、起債額が高額な臨時財政対策債の借り入れ後10年の利率見直し時期に入り、利率が大幅に下がっていますが、修善寺駅周辺整備事業等大型事業に対する起債の償還が始まるため、前年に比べ27,000千円の増（2.0%）となっています。

以上から、義務的経費トータルとしては、157,575千円の増額（2.5%）となっています。

なお、歳出全体に占める義務的経費の割合である義務的経費比率は、39.0%で、対前年度当初予算比0.7ポイントの減となっています。

II 投資的経費

投資的経費は、平成26年度までに大型事業が一段落し、平成27年度は普通建設事業が事業費・数ともに減少しましたが、平成28年度は大型事業を多数実施することから、前年度対比157,862千円の増（7.2%）となりました。

主要事業として、継続事業では光ファイバ網整備補助事業、市道横瀬大平線改良事業、新規事業では、土肥小中一貫校建設事業、ふるさと広場野球場改修事業、修善寺総合会館駐車場整備事業、なかいず認定こども園園庭造成事業、中伊豆小学校体育館改修工事等を予定しています。

III その他

① 物件費は、一般廃棄物収集運搬業務委託料150,506千円や汚泥再生処理センター運営事業委託料57,776千円、放課後児童クラブ運営委託料等45,682千円等の委託料や臨時職員に係る賃金が増えており、前年度対比90,905千円の増（3.2%）となっています。

② 補助費等は、消防の広域化に伴い平成28年4月より発足する駿東伊豆消防組合負担金555,217千円、三島市、伊豆市及び伊豆の国市電算センター協議会負担金92,364千円等のほか、新たに中小企業ホテル・旅館の耐震補強・建て替えに対する耐震化助成事業補助金80,225千円を新たに計上するなど前年度対比124,080千円（5.3%）の増となりました。

③ 繰出金は、下水道事業特別会計に対する繰出金が減額となりましたが、国民健康保険特別会計や介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計等、他の繰出金は増額となっていることなどから、全体では対前年度比 32,885 千円の増（1.7%）となっています。

④ 積立金は、ふるさと納税事業の充実を図ることから寄附額が大幅に増加すると見込み、それに伴いふるさと伊豆市応援基金への積み立てが同額必要となるため、積立金が対前年比 131,280 千円（85.8%）の大幅な増加となりました。

○ゴルフ場利用税の活用予定事業

ゴルフ場利用者からいただいたゴルフ場利用税 124,000 千円については、その使い道が特定されていない普通税ですが、廃棄物処理を始め、周辺道路の整備や観光振興、ゴルフ場周辺の環境保全等に活用させていただき、税の有効活用を図っていきます。

○ふるさと伊豆市寄附金の活用予定事業

伊豆市に寄付していただいたふるさと納税について、平成 28 年度は以下の事業に充当し実施していく予定です。

①豊かな自然環境を守る事業

- ・市有林整備委託料

②地域の安全を守る事業

- ・交通安全施設整備工事

③未来を担う子供たちを応援する事業

- ・こども医療費助成金・外国語指導助手業務委託料

④歴史及び文化を保存するための事業

- ・無形民族文化財補助金・出土品整理・施設管理委託料

⑤地域づくりのための事業

- ・地域づくり協議会に対する地域づくり交付金

※平成 28 年度からは「⑥東京オリンピック・パラリンピックを支援する事業」を追加し、会場周辺整備や市民啓発等を推進していきます。

2 当初予算の概要

(単位:千円)

会計名	平成28年度予算額	平成27年度予算額	増減	増減率
一般会計	16,590,000	15,889,000	701,000	104.4%
公共用地取得事業特別会計	28,814	1,529	27,285	1884.5%
国民健康保険特別会計	5,301,000	5,332,800	△ 31,800	99.4%
後期高齢者医療特別会計	383,300	362,289	21,011	105.8%
介護保険特別会計	3,200,000	3,200,000	0	100.0%
簡易水道事業特別会計	141,300	126,180	15,120	112.0%
下水道事業特別会計	1,358,000	1,307,330	50,670	103.9%
農業集落排水事業特別会計	165,000	155,113	9,887	106.4%
計	27,167,414	26,374,241	793,173	103.0%

(単位:千円)

会計名	平成28年度予算額				平成27年度予算額				増減	増減率
水道事業会計	収益	収入	594,111	※	収益	収入	602,190	※	△ 4,638	99.3%
		支出	567,930			支出	571,390			
	資本	収入	39,400	674,173	資本	収入	12,400	678,811		
		支出	322,477			支出	311,831			
温泉事業特別会計	収益	収入	81,781	※	収益	収入	83,045	※	14,309	123.7%
		支出	79,934			支出	77,691			
	資本	収入		74,730	資本	収入		60,421		
		支出	19,345			支出	7,850			
計	748,903				739,232				9,671	101.3%

※実質予算額＝収益の支出－減価償却費＋資本の支出

【財産区特別会計】

(単位:千円)

会計名	平成28年度予算額	平成27年度予算額	増減	増減率
持越財産区特別会計	1,520	1,520	0	100.0%
市山財産区特別会計	510	530	△ 20	96.2%
門野原財産区特別会計	190	230	△ 40	82.6%
吉奈財産区特別会計	1,420	2,000	△ 580	71.0%
月ヶ瀬財産区特別会計	1,000	940	60	106.4%
田沢財産区特別会計	95	95	0	100.0%
矢熊財産区特別会計	260	260	0	100.0%
計	4,995	5,575	△ 580	89.6%

総予算額	27,921,312	27,119,048	802,264	103.0%
------	------------	------------	---------	--------

3 一般会計予算の状況

(1) 歳入

(単位:千円・%)

年度・区分 款別	平成28年度 予算額 (A)	平成27年度 予算額 (B)	増減 (C)=(A)-(B)	前年度対比 (C)÷(B)×100
1 市 税	4,190,249	4,249,046	△ 58,797	△ 1.4
2 地 方 譲 与 税	184,000	187,000	△ 3,000	△ 1.6
3 利 子 割 交 付 金	4,500	7,500	△ 3,000	△ 40.0
4 配 当 割 交 付 金	25,000	30,000	△ 5,000	△ 16.7
5 株 式 譲 渡 所 得 割 金 交 付 金	24,000	19,000	5,000	26.3
6 地 方 消 費 税 交 付 金	600,000	600,000	0	0.0
7 ゴ ル フ 場 利 用 税 金 交 付 金	124,000	127,000	△ 3,000	△ 2.4
8 自 動 車 取 得 税 金 交 付 金	56,000	46,000	10,000	21.7
9 地 方 特 例 交 付 金	9,000	9,000	0	0.0
10 地 方 交 付 税	5,100,000	5,200,000	△ 100,000	△ 1.9
11 交 通 安 全 対 策 特 別 金 交 付 金	7,000	7,500	△ 500	△ 6.7
12 分 担 金 及 び 負 担 金	191,977	213,319	△ 21,342	△ 10.0
13 使 用 料 及 び 手 数 料	209,949	210,743	△ 794	△ 0.4
14 国 庫 支 出 金	1,492,452	1,301,156	191,296	14.7
15 県 支 出 金	1,199,438	1,073,790	125,648	11.7
16 財 産 収 入	51,570	61,638	△ 10,068	△ 16.3
17 寄 附 金	100,002	10,002	90,000	899.8
18 繰 入 金	1,008,738	1,069,847	△ 61,109	△ 5.7
19 繰 越 金	300,000	300,000	0	—
20 諸 収 入	298,625	231,459	67,166	29.0
21 市 債	1,413,500	935,000	478,500	51.2
歳 入 合 計	16,590,000	15,889,000	701,000	4.4

(2) 歳 出

(単位:千円・%)

款 別	年度・区分	平成28年度	平成27年度	増減	前年度対比
		予 算 額	予 算 額		
		(A)	(B)	(C)=(A)-(B)	(C)÷(B)×100
1	議 会 費	139,623	150,164	△ 10,541	△ 7.0
2	総 務 費	2,325,352	2,182,132	143,220	6.6
3	民 生 費	4,887,488	4,514,454	373,034	8.3
4	衛 生 費	1,204,229	1,779,056	△ 574,827	△ 32.3
5	労 働 費	15,773	21,872	△ 6,099	△ 27.9
6	農 林 水 産 業 費	655,543	679,403	△ 23,860	△ 3.5
7	商 工 費	1,089,637	796,749	292,888	36.8
8	土 木 費	1,979,098	1,817,959	161,139	8.9
9	消 防 費	765,521	963,559	△ 198,038	△ 20.6
10	教 育 費	1,826,497	1,440,687	385,810	26.8
11	災 害 復 旧 費	25	31	△ 6	△ 19.4
12	公 債 費	1,367,000	1,340,000	27,000	2.0
13	諸 支 出 金	284,214	152,934	131,280	85.8
14	予 備 費	50,000	50,000	0	0.0
歳 出 合 計		16,590,000	15,889,000	701,000	4.4

4 一般会計予算 歳入の状況

(単位:千円・%)

財源別・款		平成28年度 予 算 額 (A)	平成27年度 予 算 額 (B)	増減 (A)-(B)	構 成 比	
					28年度	27年度
自主財源	市 税	4,190,249	4,249,046	△ 58,797	25.2	26.7
	分担金及び負担金	191,977	213,319	△ 21,342	1.2	1.3
	使用料及び手数料	209,949	210,743	△ 794	1.3	1.3
	財 産 収 入	51,570	61,638	△ 10,068	0.3	0.4
	寄 附 金	100,002	10,002	90,000	0.6	0.1
	繰 入 金	1,008,738	1,069,847	△ 61,109	6.1	6.7
	繰 越 金	300,000	300,000	0	1.8	1.9
	諸 収 入	298,625	231,459	67,166	1.8	1.5
	小 計	6,351,110	6,346,054	5,056	38.3	39.9
依存財源	地 方 譲 与 税	184,000	187,000	△ 3,000	1.1	1.2
	利子割交付金	4,500	7,500	△ 3,000	0.0	0.0
	配当割交付金	25,000	30,000	△ 5,000	0.2	0.2
	株式譲渡所得割 交 付 金	24,000	19,000	5,000	0.1	0.1
	地方消費税交付金	600,000	600,000	0	3.6	3.8
	ゴルフ場利用税金 交 付 金	124,000	127,000	△ 3,000	0.7	0.8
	自動車取得税交付金	56,000	46,000	10,000	0.3	0.3
	地方特例交付金	9,000	9,000	0	0.1	0.1
	地 方 交 付 税	5,100,000	5,200,000	△ 100,000	30.8	32.7
	交通安全対策金 特 別 交 付 金	7,000	7,500	△ 500	0.0	0.0
	国庫支出金	1,492,452	1,301,156	191,296	9.0	8.2
	県 支 出 金	1,199,438	1,073,790	125,648	7.2	6.8
	市 債	1,413,500	935,000	478,500	8.6	5.9
小 計	10,238,890	9,542,946	695,944	61.7	60.1	
合 計	16,590,000	15,889,000	701,000	100.0	100.0	

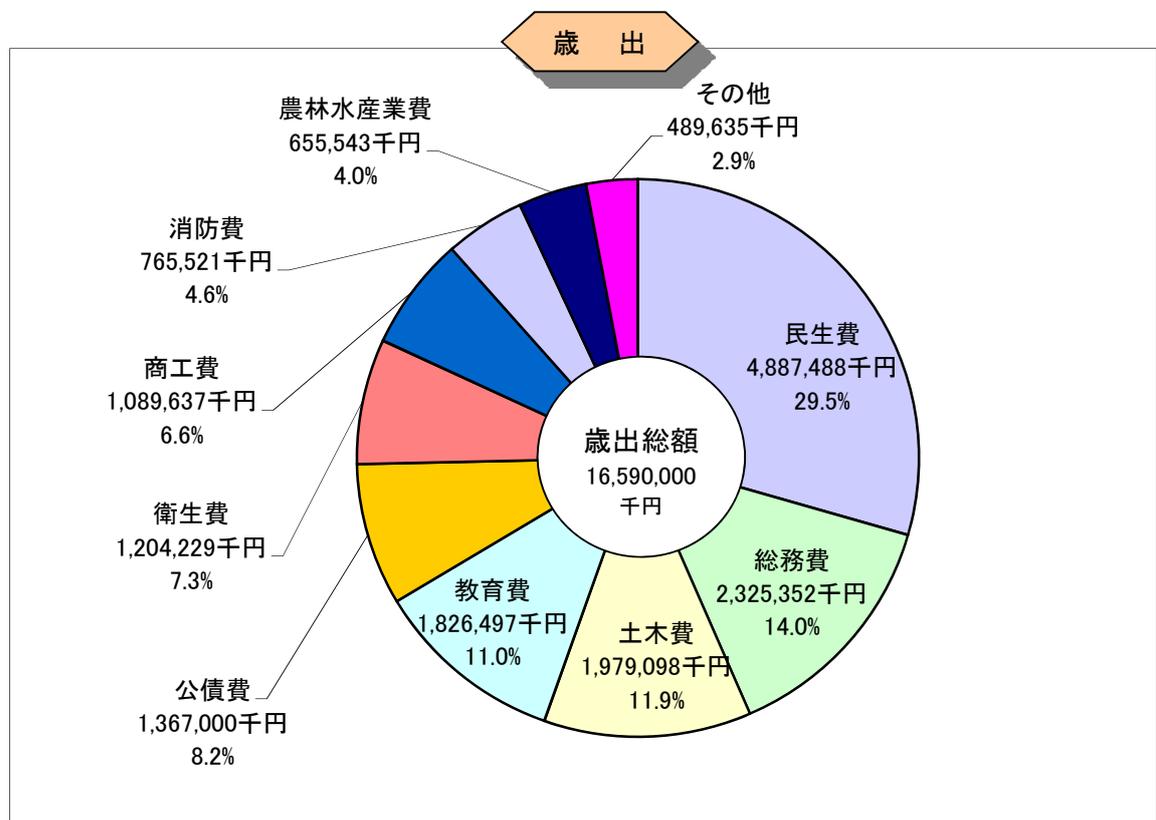
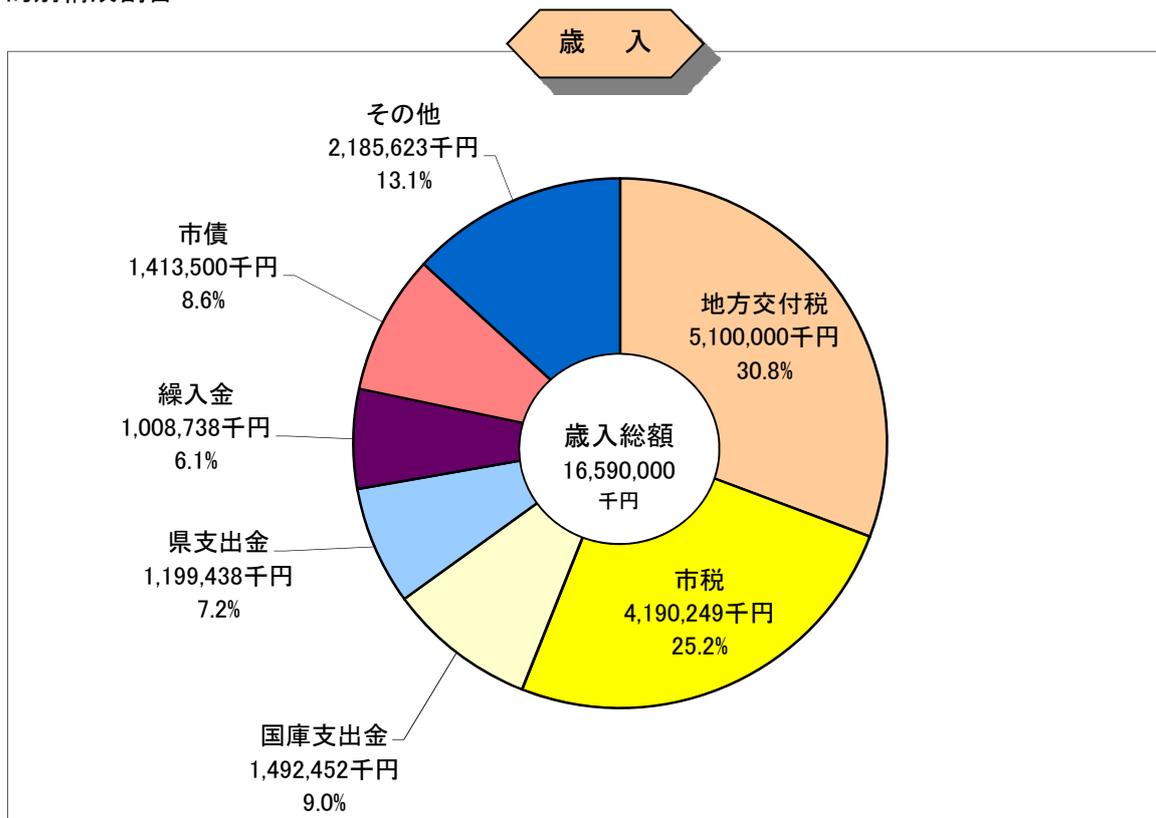
5 一般会計予算 歳出性質別状況

(単位:千円・%)

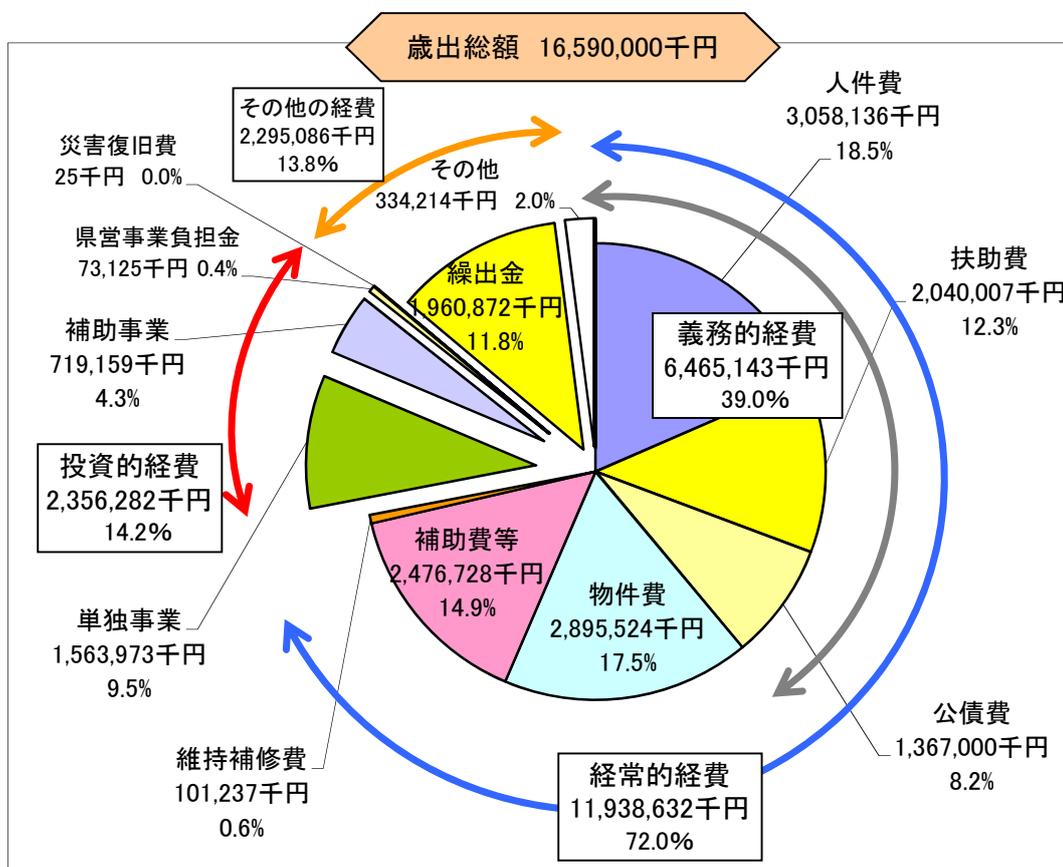
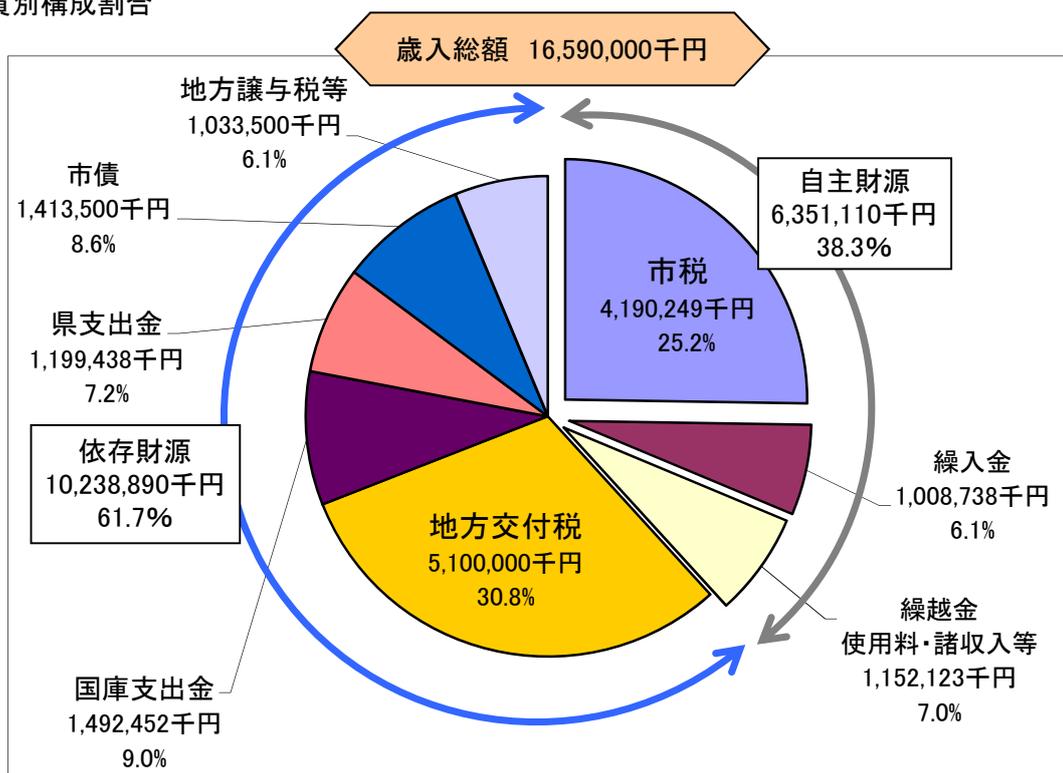
区 分 項 目		平成28年度 予 算 額 (A)	平成27年度 予 算 額 (B)	増減 (A)-(B)	構 成 比		
					28年度	27年度	
經常的経費	義務的経費	人 件 費	3,058,136	3,125,912	△ 67,776	18.5	19.7
		扶 助 費	2,040,007	1,841,656	198,351	12.3	11.6
		公 債 費	1,367,000	1,340,000	27,000	8.2	8.4
		小 計	6,465,143	6,307,568	157,575	39.0	39.7
	物 件 費	2,895,524	2,804,619	90,905	17.5	17.7	
	維 持 補 修 費	101,237	94,824	6,413	0.6	0.6	
	補 助 費 等	2,476,728	2,352,648	124,080	14.9	14.8	
	計	11,938,632	11,559,659	378,973	72.0	72.8	
投資的経費	普通建設事業	補 助 事 業	719,159	460,135	259,024	4.3	2.9
		単 独 事 業	1,563,973	1,682,939	△ 118,966	9.5	10.6
		県営事業負担金	73,125	55,315	17,810	0.4	0.3
		小 計	2,356,257	2,198,389	157,868	14.2	13.8
	災 害 復 旧 費	25	31	△ 6	0.0	0.0	
	計	2,356,282	2,198,420	157,862	14.2	13.8	
その他経費	積 立 金	284,214	152,934	131,280	1.7	1.0	
	投資及び出資金	0	0	0	0.0	0.0	
	貸 付 金	0	0	0	0.0	0.0	
	繰 出 金	1,960,872	1,927,987	32,885	11.8	12.1	
	計	2,245,086	2,080,921	164,165	13.5	13.1	
予 備 費	50,000	50,000	0	0.3	0.3		
合 計	16,590,000	15,889,000	701,000	100.0	100.0		

6 一般会計予算構成比

(1) 目的別構成割合



(2) 性質別構成割合



7 平成28年度 当初予算主要施策

(第2次総合計画前期基本計画に基づく施策分類)

★…新規事業

(単位:千円)

1 魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

少子高齢化や人口減少が進む中で、子どもからお年寄りまで、誰もが安心して生きいきと豊かに暮らせるまちづくりをめざし、「コンパクトタウン&ネットワーク構想」を推進します。

① 機能的で魅力あるコンパクトタウンの形成

項目	事業費	備考
★ 公共施設総合管理計画策定業務	8,500	基本方針、総合管理計画の作成
都市計画マスタープラン変更業務委託料	3,400	都市計画見直しに係る協議資料等作成業務委託
★ 新設中学校新築工事实施設計業務委託	97,200	総事業費216,000千円 H28年度97,200 H29年度118,800
★ 旧湯ヶ島小校舎改修設計業務委託料	46,410	耐震補強計画、基本計画、実施設計 旧湯ヶ島小校舎を地域拠点と位置付け転用

② まちの骨格となる総合的な交通環境の創出

項目	事業費	備考
★ 西平地区天北道路残土処理場原状復旧事業	47,886	測量設計20,592、道水路用地買収27,294
長寿命化橋梁修繕工事	30,000	橋梁修繕工事(小川橋)
舗装修繕工事	30,000	舗装修繕工事(3路線)
市道越路嵐山線改良工事	110,000	左岸下部工1基、用地購入、物件移転補償
市道矢熊筏場線改良工事	35,000	道路改良、測量設計
市道横瀬大平線改良工事	40,000	道路改良、測量設計、用地購入
中心市街地まちづくり道路体系検討業務委託料	1,000	階層型道路ネットワーク構想検討業務
バス路線維持事業補助金	49,840	自主運行バス17路線、過疎バス、市単独路線
高齢者割引乗車証購入助成事業補助金	3,240	高齢者パスポート(いきいきパス) 70歳以上の高齢者に対する購入助成
高校生通学補助金	12,734	保護者の負担軽減と高校生のバス利用促進を目的に 通学費を助成
小・中学生通学補助金	70,100	小学生通学補助金25,050、中学生通学補助金45,050

2 安全で心地よい生活環境の創出

市民一人ひとりが自らの健康を意識し、心身の健康づくりへの取り組みを促進するとともに健康、医療、福祉サービスを受けられる体制を整備します。
また、健康的で生きがいを持って生活できる環境整備を図ります。

① 生涯健康の創出

項目	事業費	備考
予防接種委託料	37,204	日本脳炎、子宮頸がん、肺炎球菌、ヒブ等
高齢者インフルエンザ予防接種委託料	21,663	接種率55%目標

健(検)診委託料	37,289	一般、前立腺、子宮頸がん、乳がん、大腸がん、骨密度等検診の実施
電話健康医療相談サービス	4,860	電話による24時間健康医療サービス(医師、看護師による健康・医療の相談他)
国民健康保険事業費	393,196	国民健康保険特別会計繰出金
介護保険費	541,552	介護保険繰出金、サービス事業
高齢者医療費	499,099	後期高齢者医療特別会計繰出金、広域連合負担金
こども医療費助成金	78,810	中学3年生までの医療費を助成し医療費の軽減を図る
★ 在宅医療連携拠点事業	10,183	在宅医療・介護連携定着のため、訪問診療及び24時間対応可能病院へ委託
生活困窮者自立支援事業委託料	13,804	生活困窮者の自立相談支援のほか、一時生活支援や家計相談支援を実施
生活保護扶助	475,967	生活・住居・生業・介護・医療・葬祭等の扶助費

② 心地よい環境づくり

項目	事業費	備考
★ 都市計画制度設計業務委託料	3,000	都市計画区域拡大に伴う制度設計業務委託
定住促進事業補助金	36,100	夫婦いずれかが満40歳以下の若者世帯で、新たに住宅を取得した者に上限100万円を補助 また、未就学児童に対しても補助
森林整備事業補助金	16,273	鳥獣害防止施設、人工造林、利用間伐等
竹林整備事業補助金	750	竹林の皆伐及び50%以上の間伐に対する補助(市単)
市有林整備委託料	47,426	森林環境保全直接支援事業(国庫補助)として市有林の間伐を実施。また、同事業(国庫補助)を活用してコナラ植栽地の維持管理を実施する。
有害鳥獣被害対策事業	32,388	有害鳥獣捕獲報償、被害防止対策事業補助金、鳥獣被害防止対策協議会補助金、わな猟免許取得補助金等
食肉加工センター管理運営事業	23,141	加工用原材料の搬入報償、廃棄物処理費等
修善寺温泉遊歩道改修工事	26,800	楓通り、竹林の小径、風の径を県観光施設整備事業活用し舗装整備
景観計画策定業務委託料	7,500	H27、H28の2ヶ年による策定作業
空家等対策事業	1,866	空家等対策計画作成業務委託料、危険空家立入調査員謝礼等
伊豆市伊豆の国市廃棄物処理施設組合負担金	39,454	組合負担金に対する割合 均等割50% ごみ量割50%
農業集落排水事業特別会計繰出金	133,486	農業集落排水事業特別会計繰出金
下水道特別会計繰出金	823,348	下水道特別会計繰出金
津波防災地域づくり推進計画策定業務委託料	7,000	H27、H28の2ヶ年による策定作業
★ 中小企業ホテル・旅館耐震化助成事業補助金	80,225	耐震補強・建て替えに対する耐震化助成事業補助金

光ファイバ網整備補助金	205,420	H26～28年の4か年事業 土肥・八木沢局を整備
3 産業力の強化		
<p>東京オリンピック・パラリンピックの国内開催を契機に、総合産業である観光を中心に「稼ぐ力」を強化します。 そのために、地域住民観光客双方にとって魅力を感じる風情と風格が漂う国際的な観光文化環境都市を目指します。</p>		
① 観光交流を中心とした地域産業の振興		
項目	事業費	備考
観光振興事業	83,857	伊豆市への観光客誘客事業に取り組む関係団体等への補助金や負担金。伊豆市の特色を活かした誘客事業を進める伊豆市観光協会補助金、サイクルメッカ伊豆推進協議会負担金、伊豆魅力(三力)プロジェクト補助金その他、半島全体での広域で誘客に取り組む環駿河湾観光交流活性化事業、美しい伊豆創造センター負担金等
修善寺駅観光案内所運営事業	13,633	修善寺駅構内に伊豆市をはじめ伊豆地区の玄関口として、来訪者への観光情報の提供をはじめ、オリンピック開催を機に増大が見込まれる外国人観光案内や情報発信を行う
観光施設整備事業	51,218	来訪者の安全や利便性の向上のため、修善寺温泉場内の遊歩道整備、観光施設トイレの洋式化、被災した恋人岬金の鐘展望台法面の復旧工事を行う
★ 産業強化事業	18,603	DMO構築支援業務委託料、産業経済アドバイザー報酬等
商工会補助金	8,000	伊豆市商工会運営費補助金
★ 修善寺総合会館駐車場整備工事	151,613	伊豆半島ジオパーク中央拠点となる施設に係る駐車場整備、用地購入費等
地域おこし協力隊の活用	29,776	農業及び林業事業において隊員を活用
★ ふるさと広場野球場改修工事	162,303	多目的複合スポーツ施設の主要施設のうち、経年による老朽化が進む野球場を改修し、野球、ソフトボール等の各種スポーツの合宿や大会誘致を図る。設計監理業務委託料、バックネット、バックスクリーン撤去新設、フェンス改修、外野フェンスへの緩衝材整備、内野改修工事等
② 企業誘致や雇用創出に向けた取り組みの強化		
項目	事業費	備考
企業誘致推進事業	2,745	創業者支援事業補助金、富士山麓ビジネスマッチング促進事業補助金等
新規作物導入支援事業補助金	500	単価の高い作物(酒米・わさび苗・薬用野菜を想定)
③ 起業支援		
項目	事業費	備考
若者交流支援事業委託料	3,200	若者交流施設の活用を促進し、地域住民や学生等を積極的に受け入れ、地域コミュニティの活性化を図る。

4 まちへの誇りの醸成とブランド力の向上

子どもから高齢者に至るまで、誰もが安心して心豊かに充実した暮らしを実感できるよう、自然・伝統文化など本市の良さを守り、育て、伝えていくための取り組みを進め地域への愛着や誇りの醸成に努めます。

また、地域の特性を生かした地域主体のまちづくりを展開します。

① 個性的な市民文化・都市文化の創造

項目	事業費	備考
地域づくり交付金	21,910	地域づくり協議会の地域づくり事業に対する補助

② まちの個性づくりと情報発信

項目	事業費	備考
★ 広報企画アドバイザー報酬	216	アドバイザーから戦略的な広報を目指し助言を求めるとともに職員のスキルアップを図る。
情報発信支援業務委託料	25,962	広報紙(読む)・ラジオ(聴く)・SNS(情報のコミュニケーション)を相互に連携させ、効果的に情報発信する。
ホームページ作成業務委託料	6,000	利用者が求める情報をわかりやすく、迅速に検索できるようにリニューアルする。

5 少子化対策と次代を担う人材の育成

地域の中で安心して子どもを産み、健やかに育てられる環境づくりを進めるとともに、結婚を望む人たちに出会いの場を提供するなど、子どもを持つことをまち全体で応援します。

① 子育て支援の充実

項目	事業費	備考
★ なかいず認定こども園園庭造成工事	58,914	(仮称)なかいず認定こども園の園庭部分の工事等を市が施行
認定こども園整備事業補助金	334,449	安心こども基金補助金(認定こども園整備事業)
病児病後児保育事業	10,171	受入施設に対する特別保育事業費補助金、看護師派遣料等
放課後児童クラブ運営事業	46,012	市内6カ所で運営
妊婦健診委託料	11,880	年14回、対象150人(見込)

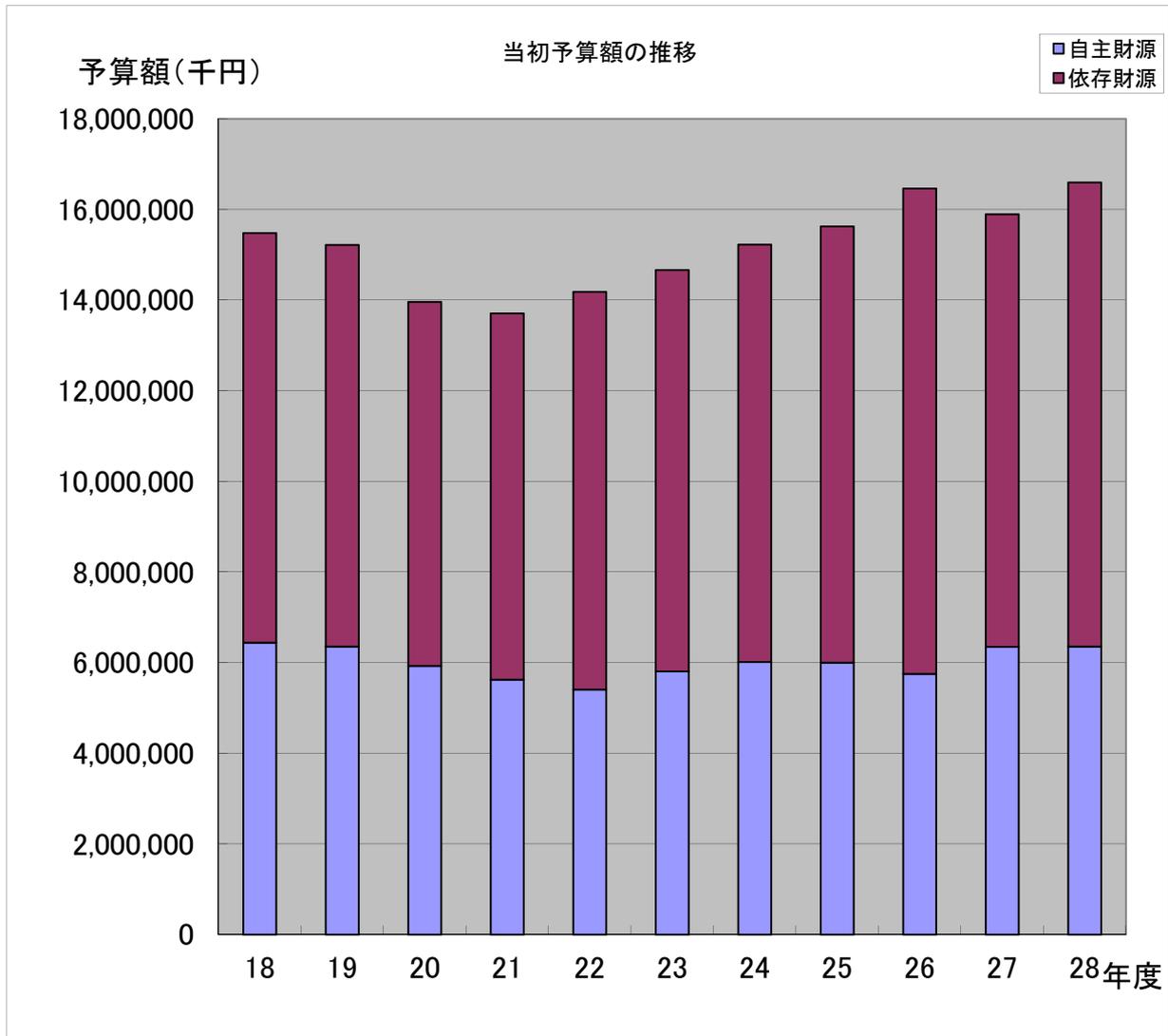
② 教育環境の充実

項目	事業費	備考
★ 沼津特別支援学校通学バス運行事業	5,900	沼津特別支援学校通学バスの市内区間延長に係る委託及び賃金
★ 新設中学校新築工事実施設計業務委託料	97,200	第2次学校再編計画に基づく新中学校建設に係る実施設計
★ 土肥小中一貫校整備事業	372,239	土肥地区における小中一貫校施設新築・改修工事ほか
外国語指導助手業務委託料	30,600	外国人講師派遣委託(6人)

8 会計別 市債残高見込み

借入金残高の見込み					
(単位:千円)					
会計別	26年度末	27年度末	28年度中増減見込		28年度末
	現在高	現在高 見込額	起債見込額	元金償還 見込額	現在高 見込額
一般会計	14,967,427	14,853,360	1,413,500	1,230,000	15,036,860
下水道事業	6,025,869	5,327,040	131,300	455,669	5,002,671
農業集落排水事業	450,101	398,323	0	52,618	345,705
簡易水道事業	636,560	650,020	50,000	8,300	691,720
水道事業	1,819,398	1,699,819	25,000	123,459	1,601,360
合計	23,899,355	22,928,562	1,619,800	1,870,046	22,678,316

9 一般会計当初予算の推移



年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
自主財源	6,436,038	6,353,274	5,921,114	5,623,595	5,404,576	5,799,968	6,009,984	5,996,728	5,746,958	6,346,054	6,351,110
依存財源	9,040,962	8,863,726	8,034,886	8,076,405	8,771,424	8,862,032	9,213,016	9,626,272	10,713,042	9,542,946	10,238,890
計	15,477,000	15,217,000	13,956,000	13,700,000	14,176,000	14,662,000	15,223,000	15,623,000	16,460,000	15,889,000	16,590,000